

地域美産研究・探訪会ニュース No.26

発行：平成 17 年（2005）8 月 3 日

第 27 回催事 探訪会のお知らせ

4 月から第 3 年度の活動に入った「Public Art Forum 地域美産研究・探訪会」は、「鎌倉」、「京町屋」、「横浜」、「鳥居」、「納涼交歓パーティー」と 5 回の催事をへて、9 月の催事「秩父探訪会」にはいります。



第 27 回催事 探訪会

秩 父

～ 絹、信仰、そして…～

勇壮華美な秩父夜祭りで知られる秩父は、平野の多い埼玉県の西部にひろがるやまなみの中に位置し、豊かな自然の中で山と谷からなる小さな盆地を築いています。また、ここを源とする荒川は埼玉から東京へと貫流し、多くの人々の暮らしに様々な影響を与えながら東京湾へ注いでいます。

秩父の名前が歴史に一躍登場するのは和銅元年（708）『続日本紀』の「武蔵国秩父郡献和銅」の記述からで、この年、和同開珎が鑄造されたことは広く知られており、この地域に早くから大陸文化や鉱業開発の技術が伝えられていたことを示しています。

米麦の耕作地に乏しい山間の地にあった秩父はふるくから養蚕が盛んで絹織物の産地としても知られています。

江戸期には大宮郷と呼ばれ、行田忍藩の領地でしたが、江戸初期の百観音信仰で西国、坂東につぐ霊場として整備され、秩父神社、宝登山神社、三峯神社の三社とともに信仰の対象の地でもありました。

近代に入ってから秩父往還の街道沿いの絹織物、それに木材、武甲山から掘り出されるセメントなどの地場産業により栄え、豊かなまちなみを形成してきました。

今回はこうした秩父のまちなみを絹、信仰をキーワードに訪ねてみたいと思います。



伊豆井秀一（いずい・ひでかず）：埼玉県立近代美術館学芸主幹。埼玉県立博物館勤務の後、美術研究の傍ら埼玉県下の社会美産（パブリックアート）の調査と研究もてがけ、その成果を彩の国、埼玉県の公共空間へパブリックアートを導入するプロジェクトのまとめ役として活躍するなど、長年埼玉県の芸術文化事業を推進。1949 年生。

詳細と参加申込みは、このチラシか、www.publicart.co.jp 美産探訪倶楽部探訪会ページで。

第27回催事 地域美産研究・探訪会「秩父～絹、信仰、そして…～」

月 日	平成17年(2005)9月17日(土)11:00～17:00(交歓会終了は18:30)	
雨天の時	雨天実施。万一台風到来で中止の場合:前夜中に参加者へ電話連絡。	
集合時間	9月17日(土)午前11:00(時間厳守)。東京方面からの方は、下記の電車が便利かと思えます。9:30 a m西武池袋発(ちちぶ13号)、10:48 a m西武秩父着 ¥1,370	
集合場所	西武池袋線「西武秩父駅」改札出口(出口は1ヶ所)	
遅刻等の連絡	伊豆井(携帯;080-1074-8607)、福原(携帯;080-3003-5277)	
講師	伊豆井秀一:埼玉県立近代美術館学芸主幹	
参加人数	25名	
参加費	探訪会	会員 ¥2,000 一般 ¥4,000
	昼食	武蔵屋(当日の混雑回避のため、秩父名物「海苔せいろ¥730」を事前予約しますので、¥730事前振込。)
	交歓会	¥5,000(会員・一般とも、自由参加)
	他の費用	美術館入場料など、現地にて費用の負担があります。
<p>参加申込と受付 以下の申込手続きに従って申し込んでください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 参加申込欄の記入事項欄に必要事項を記入し、メールかファックス又は郵送。 事務局から参加枠確保の連絡を受けて、指定振込口座(みずほ銀行青山支店普#2341030, パブリックアート研究所)に貴方の参加料金を振込料自己負担で振り込んでください。 振り込みがない場合は、貴方の参加枠を失います。 振込済み料金払戻し;主催者側に瑕疵のある場合を除き、払戻をいたしません。 申込締切:9月12日(月) 当日の傷害事故補償:美産会で負担する損保ジャパン「レクリエーション保険」で補償。 		

探訪会当日の予定:9月17日(土)

11:00	ちちぶ銘仙館(同所にて探訪コース説明予定)
12:00	お旅所、番場町通り、買継ぎ商通り
13:00	昼食(武蔵屋:秩父を代表する蕎麦屋)
14:00	秩父神社、武甲酒造、今宮神社(予定)
16:00	ちちぶびいどろ美術館
17:00	探訪会終了
17~18:30	交歓会(ちちぶびいどろ美術館)

*探訪コース:当日の進行具合その他の理由により変更する場合があります。

地域美産研究・探訪会 第27回催事の参加及び会員入会の申込書

記入日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

① 9月12日（月）迄にこの申込書をメール、FAX（03-3407-5247）か郵送で。

ふりがな		性別	男・女	年齢	才
氏名		職業			
住所	〒 _____				
生年月日	大正/昭和 _____（西暦 _____）年 _____ 月 _____ 日				
Tel(自宅)		Fax			
Tel(携帯)		e-mail			

② 探訪会出欠記入欄

会員（該当欄に○）	一般（該当欄に○）
<input type="checkbox"/> 探訪会に参加（昼食代含む；2,730円）	<input type="checkbox"/> 探訪会に参加（昼食代含む；4,730円）

③ 交歓会出欠記入欄

会員・一般とも（該当欄に○）
<input type="checkbox"/> 交歓会に参加（5,000円）

④ 会員入会希望者の入会金と年会費の振込金額

上記に加えて以下の該当金額を合算した金額；

(a) 入会金：¥3,000（越年会員と過去催事参加者は免除）

(b) 年会費（平成17年4月～平成18年3月）：e-mail会員 ¥6,000、郵送会員 ¥8,000

⑤ ②+③+④(a+b)合算による貴方の振込総金額： ¥ _____

⑥ 探訪会当日の進行业務にボランティアをお願いできる方は○を付けて下さい。

<input type="checkbox"/> 探訪会（受付、進行補助等）
--

Public Art Forum 地域美産研究・探訪会 第3年度の催事予定

平成17年(2005)8月3日現在

平成17年(2005) (茶色は終了)

- 4月20日(水) 1-1・第22回催事(研究会) : 「鎌倉美産Ⅱ、研究会」岡林 馨、PA研究所
4月23日(土) 1-2・第22回催事(探訪会) : 「鎌倉美産Ⅱ、探訪会」岡林 馨、鎌倉市
5月25日(水) 2-1・第23回催事(研究会) : 「京都美産Ⅰ、町屋研究会」杉村荘吉、PA研究所
5月29日(日) 2-2・第23回催事(探訪会) : 「京都美産Ⅰ、町屋探訪会」杉村荘吉、橋本 完、京都市
6月15日(水) 3-1・第24回催事(研究会) : 「横浜の都心美産Ⅳ、中華街研究会」藤嶋俊会、PA研究所
6月18日(土) 3-2・第24回催事(探訪会) : 「横浜の都心美産Ⅳ、中華街探訪会」藤嶋俊会、横浜市
7月23日(土) 4-1・第25回催事(研究会) : 午前、「鳥居美産会Ⅰ、研究会」杉村荘吉、PA研究所
4-2・第25回催事(探訪会) : 午後、「鳥居美産会Ⅰ、探訪会」杉村荘吉、東京都区内
8月27日(土) 5・第26回催事(特別催事) : 「納涼交歓パーティー」
9月17日(土) 6・第27回催事(探訪会) : 「さいたまの美産Ⅱ、探訪会」伊豆井秀一、秩父市
10月 1日(土) 7・第28回催事(探訪会) : 「国営昭和記念公園特別見学会」高橋良孝、山野辺信治
10月12日(水) 8-1・第29回催事(研究会) : 「多摩川の素朴な美産Ⅳ、研究会」角坂 裕、PA研究所
10月15日(土) 8-2・第29回催事(探訪会) : 「多摩川の素朴な美産Ⅳ、探訪会」角坂 裕、多摩川沿地区
11月16日(水) 9-1・第30回催事(研究会) : 「鎌倉美産Ⅲ、研究会」岡林 馨、PA研究所
11月19日(土) 9-2・第30回催事(探訪会) : 「鎌倉美産Ⅲ、探訪会」岡林 馨、鎌倉市
12月14日(水) 10-1・第31回催事(研究会) : 「かながわの美産Ⅰ、研究会」藤嶋俊会、PA研究所
12月17日(土) 10-2・第31回催事(探訪会) : 「かながわの美産Ⅰ、探訪会」藤嶋俊会、神奈川県下

平成18年(2006)

- 1月18日(水) 11-1・第32回催事(研究会) : 「テーマ未定」 角坂 裕、PA研究所
1月21日(土) 11-2・第32回催事(探訪会) : 「テーマ未定」 角坂 裕、地区未定
2月15日(水) 12-1・第33回催事(研究会) : 検討中
2月18日(土) 12-2・第33回催事(探訪会) : 検討中
3月15日(水) 13-1・第34回催事(研究会) : 「さいたまの美産Ⅲ、研究会」伊豆井秀一、PA研究所
3月18日(土) 13-2・第34回催事(探訪会) : 「さいたまの美産Ⅲ、探訪会」伊豆井秀一、さいたま市

*** ご注意 : 上記は予定ですので、都合により期日と内容が変わる場合があります。**